

「第46回 只見町小学校体育交歓会」開催

10月5日、町下運動広場を会場に「小学校体育交歓会」が行われ、只見・朝日・明和小学校の5・6年生が参加しました。

児童たちは、練習を重ねてきた成果を十分に発揮し、男子80Mハードルでは3名が大会記録を更新しました。

この日は天候にも恵まれ、多くの保護者の皆さんが会場を訪れ、頑張る子ども達を一生懸命に応援していました。大会の入賞記録は下記のとおりです。



▲1位～3位までが大会新記録の好タイムだった男子80mハードル



▲大会新記録138cmに挑戦した大竹優真くん(明和小)



▲最後まで混戦だった女子800m



▲快足を披露した女子100m

第46回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表(3位まで)

種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100m リレー	走り幅跳び	走り高跳び	ソフトボール投げ
男子	1 星 竜之介(朝・6) 3分41秒3	山内 大暉(明・6) 14秒8	横山 皓大(朝・6) 14秒7(大会新)	明和A 1分02秒0	鈴木 詠大(只・5) 357cm	大竹 優真(明・6) 130cm	酒井 悠来(只・6) 51m55cm
	2 鈴木 詠大(只・5) 3分42秒8	菊地 新大(明・5) 15秒6	新國 楓(只・6) 15秒0(大会新)	朝日A 1分02秒9	菊地 新大(明・5) 353cm	渡部 怜央(朝・6) 128cm	吉津 壘(朝・6) 46m57cm
	3 菊地 結雅(明・5) 3分43秒0	菅家 真心(朝・6) 15秒7	浅野 礼(明・6) 16秒4(大会新)	只見A 1分04秒1	菊地 琉巧(明・6) 346cm	横山 皓大(朝・6) 115cm	山内 友斗(明・6) 44m71cm
女子	1 三瓶 楓(明・6) 2分59秒8	山田 夢空(朝・5) 15秒8	橋川 綾乃(明・6) 16秒0	朝日 1分06秒0	山田 夢空(朝・5) 356cm	大竹 未桜(只・5) 113cm	目黒 希(朝・6) 36m34cm
	2 鈴木 来菜(只・6) 3分01秒2	梁取 もも(明・5) 16秒6	大竹 未桜(只・5) 16秒4	明和A 1分06秒8	鈴木 来菜(只・6) 338cm	渡部 茉莉(朝・6) 113cm	梁取 もも(明・5) 32m10cm
	3 山中 美紅(朝・5) 3分02秒5	吉津 晴香(朝・6) 17秒1	平野 結菜(明・6) 16秒9	只見 1分07秒9	山本 愛佳(明・5) 302cm	山中 美紅(朝・5) 108cm	五十嵐 陽菜(只・5) 31m95cm

※氏名(学校名・学年)です。なお、学校名は只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略です。

町内外から多くのチームが参加
第54回 只見町駅伝競走大会



▲午前10時、町下の教育委員会前を一齐にスタートする選手の皆さん

秋晴れとなった10月16日、只見町体育協会などが主催する「第54回只見町駅伝競走大会」が行われ、中学生から大人まで町内外から37チームが参加し、日頃鍛えた健脚を競いあいました。

選手の皆さんは、教育委員会前から熊倉地区や小林地区までの折り返しコースをタスキで繋ぎ、沿道では多くの町民の皆さんが声援を送っていました。そして、全てのチームが怪我もなくゴールすることができました。

ゴール後の会場では、只見町食生活改善推進員や只見ランナース、只見高校陸上部の皆さんが用意した700杯の「とん汁」が振る舞われ、選手達は疲れた体を癒していました。

閉会式で鈴木好行体育協会会長は、「只見町の駅伝大会は、走る人やジョギングする人、または歩く人がいるユニークな大会ですが、来年も多くのチームに参加して欲しいと思います」と挨拶され、表彰式で入賞されたチームや選手に賞状を手渡されました。今大会の成績は下記のとおりです。

大会成績(上位3位まで)

◆中学生男子の部(2チームのみ)

- 1位 只見中学校
- 2位 南会津中学校駅伝部

◆中学校女子の部

- 1位 若松四中
- 2位 只見中学校
- 3位 南会津中バレー

◆一般女子の部

- 1位 南会津高校B
- 2位 南郷レディース
- 3位 うるわしレディース

◆男女混成の部

- 1位 下郷町B
- 2位 下郷町A
- 3位 南会津高校A

◆一般男子の部

- 1位 南会津高校C
- 2位 会津中央病院Aチーム
- 3位 JAあいづ倶楽部B



▲笑顔でゴールテープを切る角田選手(明和走遊会)



▲(写真/長浜唱平)応援するこぶし苑の皆さんと、それに応える鈴木選手(只見ランナース)

大人気の「とん汁」コーナー



▲只見中学生にも大人気だったとん汁



▲只見町食生活改善推進員、只見ランナース、只見高校陸上部の皆さん

改良促進を福島県へ要望

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は10月14日、福島県庁を訪れ、同県道の改良促進についての要望活動を行いました。

今回の要望は、9月28日に開かれた同会総会内で決定した「小林〜亀岡間の未改良区間の整備促進」、「熊倉から荒島間のスノーシェッドの整備」、「荒島〜小川間の冬期安全対策」が盛り込まれた内容で、会長の目黒町長から島副知事に要望書が手渡されました。

県は、「小林〜亀岡間は急峻で抜本的な改良は難しいが、安全対策を検討している。加速ある整備を進める為予算確保に努める」とし、目黒町長は「早急な実現をお願いしたい」と要望しました。



▲要望書を手渡す目黒町長(左)と島副知事(右)

しあわせ金婚夫婦表彰式

10月20日、季の郷湯ら里で福島民報社と県老人クラブ連合会主催の「しあわせ金婚夫婦表彰式」が行われ、結婚して50年を迎える町内19組のご夫婦が参加しました。この表彰式は、社会の発展に貢献されたご夫婦の金婚式を県民挙げて祝福するもので、今年で30回目の開催です。

表彰式では、小沼武夫町老人クラブ連合会長から各地区代表3組に賞状とおしどり金メダルなどが伝達され、受賞者代表謝辞では、目黒彰一・ツヤ子夫妻が「町の発展の為に生ある限り精進したい」と決意を述べられました。めでたく金婚式を迎えられた皆様、誠におめでとございます。



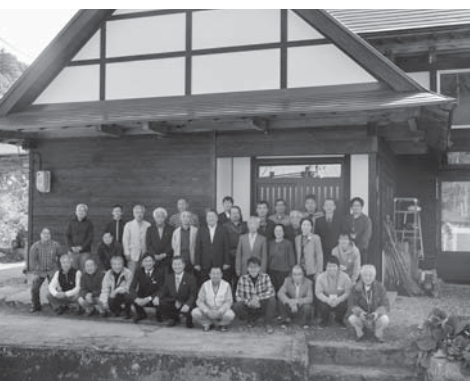
▲小沼会長から賞状を受けとる矢沢純也・宏江夫妻

布沢「緑樹の家」お披露目会

10月22日、布沢地区でJR東日本労働組合東京地方本部の「緑樹の家(旧荒井よね子邸)」お披露目会が開かれ、布沢住民など約40名が参加しました。

お披露目会で宮澤和広執行委員長は「この緑樹の家は只見線の復旧や地元活性化の活動拠点を目的に組合員やOBの有志で購入をしました。この美しい布沢を第二の故郷にしたいと思えます」と挨拶され、その後、荒井布沢区長の乾杯で祝宴が始まり、目黒町長と大塚経済文教常任委員長が祝辞を述べました。

今後、只見を外国人が訪れるモデル山村にする為、緑樹の家で農家民泊なども計画されています。



▲(写真/労組、布沢住民、関係者の皆さん)これまでDC只見を実施し、布沢の棚田の再生など地域活性化を図った労組の皆さん

只見高校進路講演会と懇談会を開催

10月1日、只見高校で生徒などに向けた進路講演会と、只見高校の振興対策懇談会が開かれました。

進路講演会は、(株)ベネッセコーポレーション菅野俊篤先生を講師に迎え、「人生の成功者は全て青春期に自らの可能性を本気で考えている」をテーマに進められ、授業に取り組む姿勢や進路希望を実現した生徒の実例などを講演頂き、参加した生徒や学校関係者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

講演会後の懇談会には地域の方や高校関係者が参加し、卒業生による講話や、地域に密着した魅力的な高校づくりについての意見交換などが行われました。



▲「人生の主人公は自分自身」と熱く説明する菅野俊篤先生

交流35周年を祝し

「永楽台地域記念式典・文化祭」開催

10月15〜16日、千葉県柏市永楽台近隣センターで、永楽台地域との交流35周年を祝した記念式典と同地域の文化祭が行われ、只見町や会津ただみ振興公社、地域おこし協力隊が参加しました。

15日の記念式典では、只見町を代表し岩瀬観光商工係長が「昭和56年から続く交流に感謝し、今後も末永いお付き合いをお願いします」と挨拶し、その後35周年の歩みが紹介され、歴史ある交流事業を互いに再確認しました。

16日の文化祭では、毎年恒例の物産販売や餅つき大会などを行い大盛況に終わりました。

今後も両市町の更なる発展の為に、交流事業を実施していきます。



▲永楽台地域の皆さんに大人気だった餅つき大会

今年は只見町で開催

歴史の道八十里越りレー講演会

10月9日、季の郷湯ら里で「歴史の道 八十里越りレー講演会」が行われ、町内外から約100名が参加しました。この講演会は八十里越りに関係する只見町・三条市・魚沼市をりレー形式で開催し、八十里越りに関する知識を共有し、交流を図ることを目的とし、今回は2回目の開催(前回は三条市で開催)となりました。

講演会では、県文化財課の轡田克史(くわだかつし)さんを講師に迎え、長谷部家文書を解説しながら当時の歴史を説明頂き、その後「八十里越馬子唄」の披露や、「未来へつなぐ歴史の道八十里越」をテーマにパネルディスカッションが行われ、来場者は真剣に聞き入っていました。



▲只見町、三条市、魚沼市、下郷町の文化財担当者がパネラーとして意見交換したパネルディスカッション

ユネスコスクール朝日小学校

第2回ESD公開授業研究会

10月28日、ユネスコスクールに加盟している朝日小学校で、東北コンソーシアム研究指定による「第2回ESD公開授業研究会」が開かれ、町内外から学校関係者などが参加しました。

この研究会は、ESD(将来にわたって持続可能な開発のための教育)を「持続可能な只見町の担い手を育てるための教育」と捉え、「つながりの中で育む只見愛」という研究主題を掲げ、公開授業・分科会・シンポジウムを通し取り組みを発表しました。特に町が抱える少子高齢化への対策として、将来に渡って地域を支える人材をどのように育成するか、参加した方々で研究を深めました。



▲(写真/5年生の公開授業)只見町の郷土料理を伝える為に、自分達ができることを考え、発信方法をみんなで提案しました

本格的な演劇を鑑賞

只見町「家庭劇場」を開催

10月11日、町教育委員会主催の家庭劇場が朝日小学校の体育館を会場に行われ、町内3保育所・3小学校の子どもたちや一般参加者など約300名が鑑賞しました。

今回の内容は、演劇集団遊玄社の方々による「イソップランドの動物たち」が公演され、「アリとキリギリス」や「ウサギとカメ」などイソップ童話で有名な物語を、短編劇で演じていました。子どもたちは、歌と踊りとリズムを織り交ぜた楽しい演劇に引き込まれ、会場内は笑いや拍手が起こっていました。そして劇の最後には、劇団員と子どもたちとの動物鳴き声対決が行われ、最後まで楽しいひと時を過ごしていました。



▲アフリカの打楽器を陽気に叩き、歌としゃべりで子どもたちを魅了した家庭劇場